

第二期松山市文化芸術振興計画(案)の概要

将来ビジョン

市民全員が“まつやま文化人”～誰もが参加できる社会づくり



基本理念

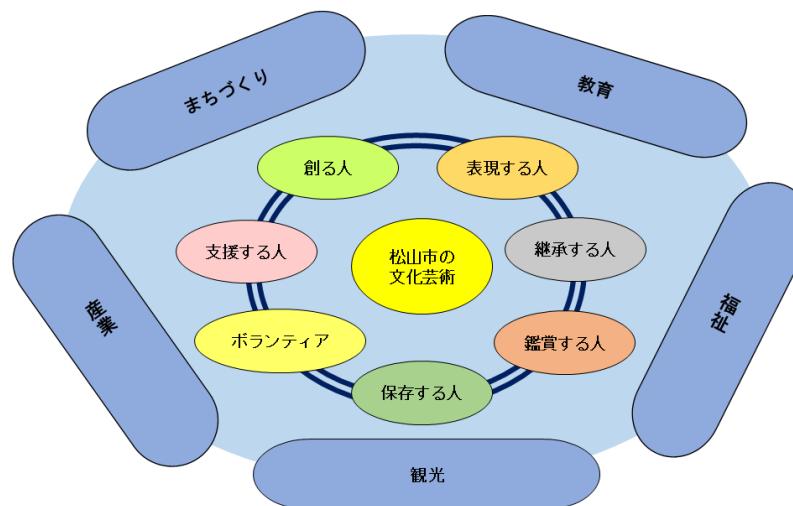
文化芸術で市民の創造性や表現力の向上を目指します
文化芸術で心豊かで活力ある地域社会の形成を目指します
文化芸術で市民の誇りと絆を深め、世界や未来へつなぎます

基本目標

- 1：文化芸術活動の推進及び支援
- 2：松山特有の文化の振興
- 3：文化芸術をいかしたまちづくり
- 4：文化芸術の教育・福祉・産業経済等への活用

第二期計画の新たな取組み

- ◆人材・担い手の育成
地域の文化に関する講座の実施、本市や財団等での専門家の確保と育成など
- ◆地域文化資源の活用
郷土芸能や郷土料理(食文化)の発信、保存、継承など
- ◆誰もが参加できる社会の構築
市民誰もが身近に文化芸術活動に参加できる機会の提供など
- ◆地域コミュニティ形成への活用
地域住民の交流拠点づくりや市民参加型ワークショップの実施など
- ◆教育・福祉への文化芸術の推進
アーティストとの協働、表現活動や講座の機会の提供など
- ◆交流・関係人口の創出による産業経済の活性化
地域文化資源を活用した文化体験などの「コト消費」への対応など



文化芸術を通じて、SDGsの普遍的な目標である「誰一人取り残さない」社会の実現のため、さまざまな分野と連携し、取り組めます。

※「まつやま文化人」
文化芸術を創る人、表現する人、継承する人、鑑賞する人、保存する人、ボランティアで関わる人、支援する人、仕事とする人、観光や産業などのまちづくりにいかす人など、文化芸術に様々な場面に関わる人や暮らしにいかす人を「まつやま文化人」と呼びます。

【計画について】

松山市は文化芸術を通じて、市民の創造性や表現力を高め、心豊かで活力ある地域社会を形成し、市民の絆を深め、松山固有の文化を世界に発信し、未来につないでいくことを目指しています。

【第二期計画の策定理由】

- ◆コロナ禍からの脱却をはじめとする文化芸術活動への支援
- ◆現在の課題や新たな視点への対応
- ◆新たな分野への連携・活用の展開

【計画期間】

5 年間（令和 5 年度～令和 9 年度）

【進捗管理】

各部局での事務事業評価や市民アンケート等により数値目標の達成状況を確認して、「松山市文化創造支援協議会」等で検証します。そして、P (Plan) D (Do) C (Check) A (Action) サイクルで計画の改善を進めていきます。